



総務常任委員会

1. 学校跡地利活用事業

将来の児童生徒数の推計結果に基づき、小中学校の現状及び長期展望を踏まえ、子供たちにとって、どのような教育環境がもっとも望ましいものであるかという視点や教育の機会等、教育諸条件の公平性を確保する観点から、さらには地域コミュニティへの影響等も勘案しながら、平成20年3月に「学校適正配置調査報告書」を策定しました。

大規模な敷地と建物を有する学校跡地について、全市的なまちづくりと地域住民の意向を尊重した地域の活性化という視点から有効に活用していくことが重要な課題となっていますが、「学校跡地利用基本方針」を定め、地域の実情を考慮しながら、学校跡地の利活用を進めています。

《 学校跡地利活用事業の進捗状況 》

旧学校名	閉校年	供用年月	進捗状況
豊住中学校	平成21年	平成29年4月	健康づくりや生きがいづくりなどを支援する「豊住ふれあい健康館」として利活用
久住第二小学校	平成23年	平成31年初夏(予定)	校舎や体育館等を民間事業者に貸し付け、簡易宿所として活用することが決定
中郷小学校	平成23年	平成31年度(予定)	地域コミュニティの維持や地域活動の拠点として利活用する方針
名木小学校	平成26年	平成29年5月	障がい者通所施設である「ネクスト名木小」として利活用
東小学校	平成26年	平成33年度(予定)	公式大会が開催できる公認コースのパークゴルフ場として整備する方針
滑河小学校	平成26年		校舎を文化財の保存展示施設、体育館を地区運動施設として利活用する方針
高岡小学校	平成26年		校舎を文化財の保存施設、体育館及び運動場を地区運動施設として利活用する方針
小御門小学校	平成26年		校舎や体育館等を民間事業者に貸し付け利活用する方針

旧久住第二小学校では、校舎や体育館等を民間事業者に貸し付け、海外旅行者や訪日外国人ほか、成田周辺の観光客向けの低価格な宿泊施設を整備し運営します。

教室を客室として整備し、地元農産物を中心に使ったバーベキューメニューの提供、無料送迎バスの運行などを行う予定で、来年初夏のオープンをめざしている。



(旧久住第2小学校跡地 イメージ図)

2. 国家戦略特区推進事業

国際医療福祉大学による看護学部・保健医療学部を次いで平成29年4月には医学部が開学しました。同大学には、これまで、看護学部、保健医療学部、医学部及び附属病院に係る用地購入（約45億円）とその



（国際医療福祉大学成田病院 完成イメージ）

無償貸与、建設費（約75億円）などの補助金、附属病院を建設する（一社）成田国際医療都市機構への出資金2億円を含め、約125億円の支援を行いました。

《 国際医療福祉大学 学生の出身の別 》 平成30年5月1日現在

学部	学科	学年	県内			県外	計
			市内	市外	県内比率(%)		
医学部	医学科	1年	0	19	13.6%	121	140
		2年	0	14	10.0%	126	140
看護学部	看護学科	1年	4	59	57.3%	47	110
		2年	3	63	62.3%	40	106
		3年	8	54	59.0%	43	105
保健医療学部	理学療法学科	1年	3	38	48.2%	44	85
		2年	4	32	43.9%	46	82
		3年	6	40	50.5%	45	91
	作業療法学科	1年	2	27	69.0%	13	42
		2年	2	18	46.5%	23	43
		3年	1	21	55.0%	18	40
	言語聴覚学科	1年	3	19	52.4%	20	42
		2年	3	18	46.7%	24	45
		3年	0	20	58.8%	14	34
	医学検査学科	1年	1	33	39.5%	52	86
		2年	7	33	47.6%	44	84
		3年	5	24	34.5%	55	84
合計			52	532	43.0%	775	1359

畑ヶ田地先には、2020年4月開院予定で、附属病院（病床数642床）の建設が進められています。また、吉倉地先への新駅構想も含め医療関連産業の集積に向けた調査を進めています。